

歴史と哲学の県立熊谷図書館 = 資料案内 =

Lib. Letter

2006 Autumn [9~11月] 季刊

平成18年9月1日 通巻 第6号

編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

<http://www.lib.pref.saitama.jp/> Tel 048-523-6291

江戸時代のガイドブック

『名所図会』を行楽する

— たとえば道灌山の聴嵐 —



秋の行楽シーズンです。この秋は、『名所図会』の世界に遊んでみませんか。江戸時代に虫の音を聴くのに最適の場所として賑わった、道灌山へ出かけてみましょう。

◇ 「名所図会」とは

「名所図会」は、江戸時代後期に刊行された絵入りの地誌です。寺社・旧跡・地名・景勝地などの由緒来歴や、街道・宿駅・河川などの案内をわかりやすく解説し、鑑賞にもたえる実景描写の挿絵を多く取り入れた、江戸時代のガイドブックです。

〈名所〉とは本来、古歌に詠まれるなどして昔から広く知られている場所を指しましたが、名所図会では証歌の有無にかかわらず、数多くの場所をとりあげています。

名所図会は、安永9年(1780)に爆発的な人気を博した『都名所図会』(秋里籬島編 竹原春朝斎画)にはじまり、約70種が刊行されましたが、天保5-7年(1834-1836)に刊行された『江戸名所図会』(斎藤長秋・莞斎・月琴編 長谷川雪旦画)は、特に有名です。また、『江戸名所図会』は、広く近郊までとりあげているため、その範囲は埼玉県にも及びます。このほか『東海道名所図会』のように特定の街道筋に関するものや、『都林泉名勝図会』のように庭園に焦点をあてたものなども見られます。

◇ 図書館で見られる各地の「名所図会」

『江戸名所図会 1-6』(角川書店 1966-1968: 請求記号 B291.36/サ閉架・S290/サ3階資料室)

『江都名所図会』(複製画 大空社 1993: R291.36/エ 3階資料室)

『河内名所図会 版本地誌大系 4』(臨川書店 1995: 291.63/カ 閉架)

『木曾路名所図会』(名著出版 1972: 291.09/ア 閉架)

『芸州巖島名所図会 上・下』(日本資料刊行会 1975: R291.76/ケ 閉架)

『新修京都叢書 6 都名所図会』(臨川書店 1994: R291.62/シ 2階資料室)

『新修京都叢書 7 拾遺都名所図会』(臨川書店 1994: R291.62/シ 2階資料室)

『摂津名所図会 上・下』(古典籍刊行会 1975: R291.63/ア 閉架)

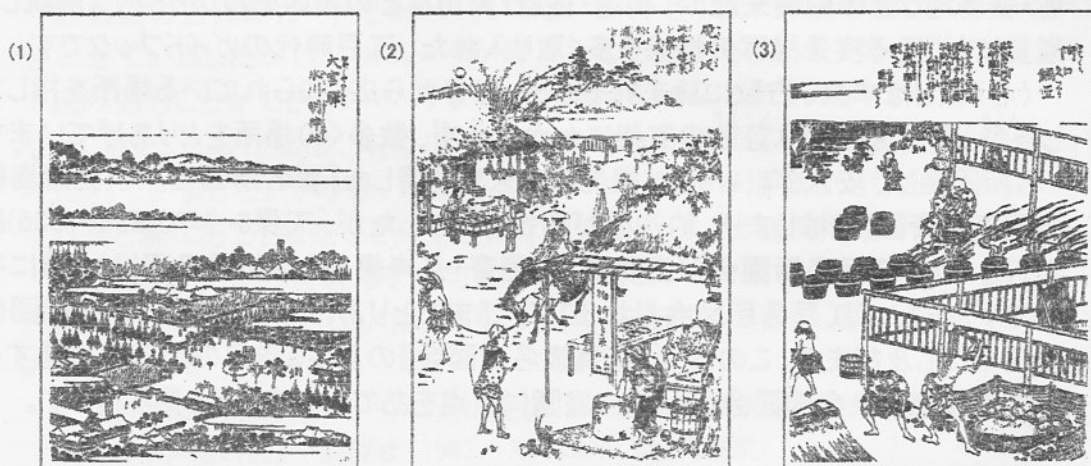
『東海道名所図会 上・下』(復刻版 羽衣出版 1999: 291.5/トウ 2階資料室)

『東海道名所図会』(日本資料刊行会 1976: R291.5/ア 閉架)

- 『浪速叢書 7・8 摂津名所図会大成 1・2』(名著出版 1978: R081/ナ 閉架)
 『成田名所図会 成田参詣記』(有峰書店 1973: 291.3/ナ 閉架)
 『日本図会全集 [第1]-3期』(日本随筆大成刊行会 1928: 291/N71 閉架 *欠本あり)
 『日本名所図会全集 [1-14]』(覆刻版 名著普及会 1975: R291.09/ニ 閉架)
 『日本名所風俗図会 第1-18・別巻』(角川書店 1980-1988: D291.08/ニ 2階資料室)
 『都名所図会 上・下』(角川書店 1968: B291.6/A38 閉架)
 『大和名所図会』(日本資料刊行会 1976: R291.6/ヤ 閉架)
 『有朋堂文庫 92-95 江戸名所図会 1-4』(有朋堂書店 1927: 081/ユ 閉架)
 * 「閉架」の資料は、カウンターでご請求ください。また、請求記号に「R」がついている資料は、館内でのご利用となります。このほかにも様々な資料がありますので、検索してみてください。

◇ 「江戸名所図会」を行楽する

それでは一緒に、道灌山へ虫聴きと洒落てみましょう。まずは大宮の氷川神社(1)に立ち寄って、安全祈願をしておきましょう。小腹がすいたら、江戸時代のファーストフード、焼米はいかがでしょうか。浦和宿から蕨宿へ向かう途中の浦和坂(2)では、炒った米を袋に入れて売っています。せっかくだから、河口鍋匠(3)も見学していきましょう。川口鑄物の発祥については諸説がありますが、ここでは暦応年間に河内から移住してきた説をとっています。



- (1) 【大宮駅 氷川明神社】
 (2) 【焼米坂】 此地に焼米を製ぐ家ある故に、名とす。本名ハ浦和坂なり。
 (3) 【河口鍋匠】 其家に伝へて云、天命國家が後胤なりと、人皇九十七代光明院の御宇、暦応年間、河州丹南郡より此所に移り住するよし、其子孫今猶こゝに栄へて連綿たり。

さて、そろそろ日も暮れてきました。虫の鳴き始める刻限です。道灌山へ急ぎましょう。太田道灌ゆかりとも言われる道灌山は、西日暮里のあたりです。おや、先客が、お酒を酌みかわしながら詩作にふけています。あの姿は、宝井其角でしょうか。むこうでは子どもが、団扇を手にした女の人に、捕えた虫を見せています。旧暦文月の末、つまり新暦の9月初めの頃ですから、まだまだ暑さが残ります。

それでは、詩作を練るもよし、ゆっくりお酒を味わうもよし。有明の月を眺めるまで、ごゆるりと金琵琶や鐘児の音色をお楽しみください。



【道灌山聴蟲】文月の末を最中にして、とりわき名にしあふ虫塚の辺を奇絶とす、詞人珍客こゝに來りて、終夜その清音を珍重す、中にも鐘児の音ハ勝て艶く、莎鷄、紡織娘のあはれなるに、金琵琶の振捨がたく、思はず有明の月を待わたるも一興とやいはん。まくり手にすゝむしさがす浅茅かな 其角
 * 図版は『有朋堂文庫 94 江戸名所図会 3』より転載

新着資料案内

最近図書館に入った新しい資料をご紹介します。どうぞご利用ください。

* ()内が、資料の請求記号です。書架にない場合は、リクエストしてください。

◇ 日本語図書

- 『ブログがジャーナリズムを変える』湯川鶴章 NTT出版 2006.7 (070.4/70)
- 『君はいま夢を見ていないとどうして言えるのか 哲学的懷疑論の意義』
 バリー・ストラウド 春秋社 2006.6 (115.8/キミ)
- 『給食の味はなぜ懐かしいのか?』山下柚実 中央公論新社 2006.7 (141.2/キユ)
- 『ブッダは、なぜ子を捨てたか』山折哲雄 集英社 2006.7 (182.8/7ツ)
- 『ガラス瓶の考古学』桜井準也 六一書房 2006.7 (210.6/カラ)
- 『明治の記憶 学習院大学所蔵写真』吉川弘文館 2006.6 (210.6/メ)
- 『豊田佐吉とトヨタ源流の男たち』小栗照夫 新葉館出版 2006.8 (289.1/ト3013)

◇ 外国語図書

- 『從這島、到那島』徐玫怡/著 台北 皇冠文化 2004.3 (292.09/Co)
 中国語版(台湾語版) 書名直訳:この島から、あの島へ
- 『大長今 上・中・下』金榮暉/劇本 柳敏珠/撰寫 王俊/譯 台北 麥田出版 2004.5-7
 中国語版(台湾語版) 日本語訳書名:宮廷女官チャングムの誓い (929.13/kiy)

◇ 視聴覚資料(CD)

『ダフニスとクロエ:パレエ音楽:3部から成る舞踊交響曲/ラヴェル』

フランス国立放送合唱団 DEUTSCHE GRAMMOPHON 2006 (121/ラ)

『アメイジング・グレイス』 山下和仁(ギター) 日本クラウン 2006 (152/ヤ)



図書館の言葉

「蔵書点検」と「曝書」について



「蔵書点検」=「棚卸し」 「曝書」=「虫干し」

県立図書館で年に2回いただく特別整理期間には、職員が一丸となって「蔵書点検」を行っています。「蔵書点検」とは、図書館の資料を点検し、紛失や汚破損などの状態を把握する作業です。商店などで決算期に行う「棚卸し」と似ています。

図書館の目録がカードだった時代には、カードを1枚ずつ読み上げて資料と突き合わせていましたが、コンピュータが導入された現在では、バーコードをスキャナーで読み込むことができるので、ずいぶん作業がはかどるようになりました。

ところで、この作業は、本の虫干しをしていた時代の名残で、以前は「曝書」とも呼ばれていました。その昔、湿気を含みやすい和紙や唐紙からなる和書は、広げて日光と風にあて、紙魚などの害を防ぐ必要があり、これを曝書と呼んでいました。

この「曝書」という言葉は、俳句の季語にもなっていますので、興味のある方は『歳時記』を紐解かれてはいかがでしょうか。季節がいつかは、調べてみてのお楽しみとさせていただきます。

* 『図説俳句大歳時記 1-5』(角川書店 1974: R911.3/ス 3階資料室)

『日本大歳時記』(講談社 1987: R911.3/カ 3階資料室)

— 特別整理期間のお知らせ —

- 9月25日(月)から10月3日(火)まで、県立熊谷図書館は、特別整理期間のため休ませていただきます。何かとご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。
- 特別整理期間中、図書と雑誌は、ブックポストにお返しいただくことができます。ただし、CD・ビデオテープなどの視聴覚資料は、破損のおそれがありますので、開館している時にお返しください。
- なお、県立浦和・久喜図書館は開館しておりますので、そちらをご利用ください。